

昭和48年12月5日
広報あじす

広報あじす

お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 1番・〒754-12

印刷 阿知須町役場

広報あじす

No.265

町の住民登録人口
(48年11月30日現在) 前月比
世帯 2,032世帯 +4
人口 8,152人 -4
(男3,841人 女4,311人)
(国勢調査昭和45年10月1日)
世帯 2,008世帯
人口 8,035人
男 3,730人 女 4,305人

「消費」に反省の時期

買いだめが値上げを呼ぶ

山口県は十一月二十四日に、生活関連物質対策連絡会議を開き、トレイントーバー、ガソリン、砂糖、洗剤等最も異常に品不足の状況で販賣している生活物資の確保に当つています。そして、通運省などにこれらの品を県内に多く送込むよう要望しており、次第に県内への入荷量も少づつあります。このように消費者の中には買いためは儲けをなものだとしてこれまでの消費について反省も出ており、バニタ(怨恨)状態でえられた重畠も静に戻りつつあります。

品薄の現象は

次第に落着く

この現象は、アラブ産油国が日本への石油出荷を削減するといつてから一ヶ月からものである

出したのを機として、十月から

十一月にかけて、全国的に物不足にならぬではないかとの反省が出来ました。

特に山口県は、販賣してこられる商品のところ、消費者が貰たてに走る異常な高値を始めた商品もまた店頭から一様に姿を消しました。

しかし、僅かに出たとしてしまったことから、県では緊急措置を取ることになりました。

通勤中の災害にも備へ

十二月から新たに労災保険を適用

労働者災害補償保険法(災害者が被災した場合、または業務上の事故によって死亡した場合)と就業障害法(部長による十二月一日から通勤中の災害に対するもの)が社会保険が適用されるようになりました。

これまで自首と勤務先の往復途上の事故については補償がなかったのですが、最近は、住宅や通勤中の事故があまり多くなったため、長時間勤務するため、新たに「通勤災害」を認めたことになります。

この通勤災害は、通勤による負傷、病気障害、または死傷の事故をみたとしている場合をいいます。

今までがそれには次の二点の条件をみたとしている場合をいいます。

①労働保険に加入している労働者

買ひだめが値上げを呼ぶ

ています。

物価統制は戦後の混沌事態によつて、再生できるものではあります。しかし、使ふようになつたもので、これが重要な資源に適用します。

それが、これを重要資源に適用します。

主張田が認めなきときには過

つあります。

このため十二月未だから

入院保険がえています。

これに共に、消費者の間で貿

易を止めることになり、ある

ます。

そのため、十二月未だから

第三次落着した価格に艮りつあ

ります。

買ひだめが値上げを呼ぶ

ています。

物価統制は戦後の混沌事態によつて、再生できるものではあります。しかし、使ふようになつたもので、これが重要な資源に適用します。

それが、これを重要資源に適用します。

主張田が認めなきときには過

つあります。

このため十二月未だから

入院保険がえています。

これに共に、消費者の間で貿

易を止めることになり、ある

ます。

そのため、十二月未だから

第三次落着した価格に艮りつあ

ります。

買ひだめが値上げを呼ぶ

ています。

物価統制は戦後の混沌事態によつて、再生できるものではあります。しかし、使ふようになつたもので、これが重要な資源に適用します。

それが、これを重要資源に適用します。

主張田が認めなきときには過

つあります。

このため十二月未だから

入院保険がえています。

これに共に、消費者の間で貿

易を止めることになり、ある

ます。

そのため、十二月未だから

第三次落着した価格に艮りつあ

ります。

これまで、国民の多くは、石油

みなさまの中でもしそうない

時代にあり、いつでも必要な開拓

開拓ができないことがあつた

時代にあります。

それが、現在ある資源の物質を

つばさ、現在ある資源の物質を

これまで、国民の多くは、石油

みなさまの中でもしそうない

時代にあり、いつでも必要な開拓

開拓ができないことがあつた

時代にあります。

それが、現在ある資源の物質を

つばさ、現在ある資源の物質を

(はじめておくと便利です)

お知らせ

</

昭和48年12月5日

巡回ラジオ体操会など

ことしの歩みを振り返る



自然に恵まれた「宝」の郷

あじす 再発見

(3) 山あり、海あり、川もある町
この自然に恵まれたは、遠いむ
かしから、文字でも少しだけいた
つまづき、約十年前の記
録には山から阿知須がかけたこ
の地方を「賀宝郷」と記してお
りました。

「賀はおめでたい」と云う、
「宝」はダカラ。文をらみ、
それがて、おめでたいところ、
それは恵まれた地だといえましょ
う。

漁業は郷内の大豊富な魚を陸揚
げ、農業はなだらかな陵地から
砂糖の多い作物をつくり出しま
した。四季の移り変わりは常に富
んでいます。

は昭和の初期まで続いてきました
・八景石五キロメートル、本町の
御影石(花崗岩)を産出。海は天
メートル沖合に通石造船所が作ら
れました。中から地質線として
そうしたながら陸から五百

三景石三・四キロメートル(干拓
地)を造りました。

1月 四月から山

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月